

新年明けまして

おめでとぅございます。



〔洋画家：岡崎洋児氏（珠洲市狼煙町）〕

くらむ

アイデンティティ 48

― 郷里の先達に学ぶ ―

哲学者 西田幾多郎博士

経験の中からこそ考える

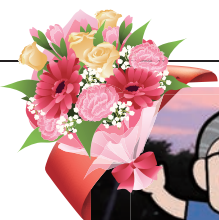
能登半島の付け根というか入口に位置するのと里山海道白尾IC近くに西田幾多郎記念哲学館がある。西田幾多郎は現在のかほく市森に生まれ、その人生は苦難に満ちた逆境の中でビュシスの主客未分の「純粹経験」の立場から日本最初の哲学を体系化した世界に誇る哲学者である。

子どもの頃学校ではもとより情報のあまりない時代なのに、田畑で働きながら古老たちから「西田幾多郎という偉い人が言ってるそうなの。やったこと・やろうとすることを自分でよく考えないと」と、おっちょこちょいのふらふら坊主の俺は論として耳にしたのである。当時奥能登にまで学問としてではなく、日常の経験を突き詰める姿勢に共感するシフトが燎原の火のように広がったのであろうか。

京都で大学の頃東山の麓の疎水に沿った哲学の道を幾度となく歩いた。いうまでもなくこの名称は哲学者西田幾多郎の散策コースにちなんだものである。途中に西田の詠んだ石碑「人は人吾はわれ也」とにかくに吾行く道を吾は行くなり」がある。触発されて『善の研究』をはじめ著書に挑戦するも、内容の難解さだけでなく読みづらさでいまだに歯が立たない。

冒頭のミュージアム（建築家安藤忠雄の設計）は西田哲学をわかりやすく学べるとともに、思索体験も楽しめる心のオアシスである。展示室の西田の思想や精神に触れる書に「非常時なればなるほど、我々は一面において落ちついて深く遠く考えねばならぬと思う。」とあった。今日のコロナの渦中なればこそ示唆に富む忠言ではないか。

（押上武文（府中市） 宝立町出身）



東京奥能登応援だより50号記念



珠洲商工会議所
会頭
刀祢 秀一

平成二十年の東京奥能登応援団だより第号の発行から十三年目を迎えられ、第五十号が発行された事をお慶び申し上げます。

平成二十年の「能登の花コメ」公開、平成二十三年の「能登の里山里海」の世界農業遺産認定、平成二十七年北陸新幹線金沢開業と同時に期のNHK朝ドラ「まれ」の放送開始、平成二十九年の奥能登国際芸術祭2017の開催など能登の魅力を支援団だよりで伝えて下さり大変感謝しております。

新型コロナウイルスの影響がまだまだ続くことが予想されますが、首都圏在住の能登出身の皆様と共に郷土出身力士の応援や石川県人祭への参加、能登の物産展などで再びお会いできることを心待ちにしております。

東京奥能登応援団だよりが、能登と首都圏のふるさを想う気持ちをつなぎ、関わる方々が健勝に過ごされることを祈念いたします。



ゆるキャラ
「見附太郎」



珠洲市物産協会
会長
藤野 裕之

東京奥能登応援団だよりが、50号の発行を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

平成20年7月に第1号を発行して以来、能登を応援したいという強いお気持ちで、能登の出来事や首都圏で行われる各種行事などを取材され、発行を続けておりますことに、また編集に携わってこられた関係の皆様には心より敬意を表します。

東京奥能登応援団だよりでは首都圏での物産展などの情報を掲載いただくとともに、会員の皆様には物産展などの応援、販売のご協力に駆けつけていただくなど様々な面でご支援を賜り、改めて感謝申し上げます。

今後とも季節折々の能登の情報発信として、また会員の皆様の能登の情報ツールとして、東京奥能登応援団だよりのさらなる充実をご期待申し上げます。

東京奥能登応援団の今後のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げます。



飯田高校応援団 募集中！
電話 0768(82)4748



珠洲市観光協会
会長
重政 靖之

明けましておめでとございます。旧年中はたいへんお世話になりました。

東京奥能登応援団だよりが、今号をもつて五十号を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

手前ごとではありますが、道の駅すずなりは昨年で開業20周年の記念すべき年を迎えました。これも東京奥能登応援団や多くの皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。

そして、新たな20年に向け第一歩を踏み出そうとした矢先、世界的なコロナ禍で大変な事態となりました。しかし、奥能登応援団の皆様方を初め、多くの方々のご支援で少しづつではありますが、回復に向かっています。改めてお礼を申し上げます。

コロナ禍が始まって以来、人々の往来は目に見え少なくなりましたが、かえって人々の絆は深まり強固になってきたと思われれます。

これからも皆様方との絆がより強くなるよう、ふる里の振興に努めてまいります。

最後になりましたが、皆様方ますますのご発展を祈念して、挨拶とさせていただきます。



石川県立飯田高校
同窓会
会長
川元 信勝

東京奥能登応援団だより五十号、誠にめでとございます。

元号が平成から令和に変わり、さぞ素晴らしい年が始まると心から思い自身に期待をして同窓会会長をお受けしましたが、令和二年が始まりこの様な世界的な新型コロナウイルス災害になるとは夢にも思わぬことと心を痛めています。

この様な時だからこそ学校と同窓会がより深く連絡を取り合い全員で頑張っていかなければと思います。その中で、現在飯田高校が持つている問題の一番は奥能登地域の人口減少による入学生数の定員未達が学校の悩みです。現在在、遠方からの通学バス支援や生徒さんが中心となり能登の色々な企業様と一緒に地元の良い所を見直す事業に取り組んで学校のイメージアップに努めております。それによつて入学生数が上がることを我々も応援しているところです。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く終わります様、心から祈りし東京奥能登応援団が益々地元との繋がりが深くまた強い絆で続きます様、心から希望して私の挨拶とします。

東京珠洲会会長 笠原英二
(宝立町出身・流山市)

東京奥能登応援団の皆様
栄えある創立13周年を迎えられ
心からお祝い申し上げます
令和三年元旦
東京珠洲会 会長 笠原 英二



弁護士 表 久雄
(松波町出身・我孫子市)

明けましておめでとうございます。
警視庁捜査一課長の劇務を見事に果たされて退職された光真さん
から「郷里・珠洲のお役に立ちたい」と言われ、「奥能登の応援団
を・・・」と申し上げた。そのころ、私の郷里の松波は珠洲ではな
くなっていた。あれから十三年、感無量です。ご苦勞様でした。
なお、一層のご活躍を祈念いたします。
令和三年元旦
表 久雄



石川県観光スペシャルガイド 藤平朝雄
(東京都目黒区・輪島市)

新春のお喜ぶ
ふるさと思いが満ちる「東京奥能登応援団
だより」50号発行を、こころより感謝お祝い
申し上げます。
郷里への熱いまなざし。余りある恩返し。多
大な貢献。光真章代表をはじめ団員各位の
ご尊志にいつも手を合わせています。
令和三年新春
能登半島広域観光協会相談役 藤平朝雄



前飯高同窓会東京支部長 谷 辰夫
(大谷町出身・我孫子市)

新年明けまして
おめでとうございます
新型コロナウイルス禍が収束し、希望に満ちた年になることを
期待致しております。
奥能登で育まれたいろいろな事柄が、その後の生き方
に大きな影響を受けていることを実感しております。
いろいろな情報を知ることが、有難く故郷を共有して
いる嬉しい一時です。
五十号を迎えられた情報誌「東京奥能登応援団」の益々
のご発展をお祈りいたします。ご期待申し上げます。
谷 辰夫



書家 船本芳雲
(宝立町出身・鎌倉市)

牛を引いたと
ある。簡単
には動いてく
れない。力ではな
く、寄り添うこと
だったのです。
芳雲

挿絵画家 西のぼる
(熊谷町出身・白山市)

迎春
令和三年元旦
ぼる

ふる里柳田会会長 角 明
(柳田村出身・川口市)

謹賀新年
東京奥能登応援団だより発行
通算50号 おめでとうございます。各所活動の
御報告と地道な御努力に驚き敬慕を感ずる。我
々ふる里柳田会は、奥能登応援団の御支援、御協
力をいただき、活動の場をいただいております。あ
なたの力と情熱が、柳田会を大きく育ててくださ
る。御支援、御協力をお願い申し上げます。ふる
里柳田会 会長 角 明



関西珠洲会会長 宮崎 和夫
(三崎町出身・堺市)

賀春
希望を胸に
素敵の一手と
びる事を願う
花刊5号
おめでとございませう
宮崎 和夫



東海珠洲会会長 吉野 修進
(東山中町出身・北名古屋)

奥能登応援団の皆様 新年明けましておめでとうございます
皆様におかれましては、新年を晴々しい気持ちでお迎えのこととお喜び申
し上げます。
さて、皆様が多様な形で故郷を応援されていることに敬慕いたしております。
私共東海珠洲会は、結成7年になりますが、まだ活動不足は否めないと
ころで、少しでも皆様の奥能登応援団の活躍に近づこうという心を新たにす
るところです。
ところで昨年は、奥能登国際芸術祭が延期となる等多くの事業が中止と
なりました。皆様も故郷を思えば、ご断念せざるを得ない状況に置かれ
たコロナの災禍でした。
そして御本人におかれましては、生活様式の変化を余儀なくされ、不便や窮
屈を強いられたところですが、しかし一方周りの人との絆に気付いたとか
改めて時間の価値を知ったなどといった点もあったのではないかと思います
まだ先が見通しづらいコロナ禍ですが、平穏な日々にも一日も早く戻るこ
とを願うとともに、皆様方のご健康と益々のご活躍をご祈念申し上げます

～頑張る奥能登人～

同郷(飯田町)出身の夫人・磨理さんと共に

地道な努力で
「都民の警察官表彰」を受賞

警視庁警護課 SP(セキュリティポリス=警護官)

谷中 透さん

(昭和44年生まれ・宝立町出身)

昭和63年飯田高校卒・警視庁巡查拝命

要人警護のスペシャリストとして卓越した警護技術を有し、令和元年行われた「即位礼正殿の儀」などにおいては、過去に例のない多数の来日外国要人警護に従事し、警護対象者から信頼を得るなど首都の治安維持に多大な貢献をしている。

【産経ニュースから】

東京都民の安全と首都の治安を守る警視庁の警察官約4万6千人の中から特に優秀な警察官に贈られる「第90回都民の警察官」(産経新聞社、フジテレビジョン、文化放送など後援)の表彰式が10月14日、千代田区の手町サンケイプラザで開催された。受賞した5人の警察官が純銀製の「都民の警察官章」を胸に、都民の安心・安全を守る決意を新たにし、拍手と祝福を受けた。

円熟した画才で
日展審査員に就任

洋画家(日展会員 一水会常任委員)

鍵主恭夫さん

(昭和24年生まれ・三崎町出身)

勤労者美術展最高賞(労働大臣賞)、日展、一水会展、ヨコハマ風景美術祭展など多数受賞

令和2年10月30日～11月22日国立新美術館で開催された日展(新第7回(令和2年度)日本美術展覧会)の第2科洋画の審査員を務めた。

【地域情報誌タウンニュースから】

能登半島の先端、珠洲市出身。創作の楽しさを教えてくれたのは瓦職人の祖父だった。作業の傍で粘土をこね、完成すると窯で焼いてくれた。「これはいい出来だぞって褒めてくれて。過疎化で今は窯は残ってないんだ」とボツリ。そのせいもあってか、「郷愁」がテーマのひとつ。

連絡先: 253-0035 神奈川県茅ヶ崎市浜須賀9-62

電話 0467-83-1813

飯田高校同窓会東京支部
臨時幹事会開く

12月5日JR鶯谷駅

前の居酒屋「関所」をキーステーションにして飯田高校同窓会東京支部臨時幹事会が開催されました。幹事会は、コロナ禍に配慮してWebで行われ、山崎敦子副支部長が参加しました。



本部同窓会が制作したスポーツタオルを広げて

関西珠洲会の
役員改選について

議題として開催が新型コロナ拡大で持ち越している「支部総会」(令和3年5月予定)について、コロナ禍の情勢やオリンピックパラリンピックの開催を勘案して秋季に開催することを申し合わせしました。更に予てから論議されている「東京珠洲会」と合同で開催する案についても討議され、笠原英二「東京珠洲会会長」双方の役員と協議することとしました。

関西珠洲会は、11月に予定していた総会を中止し、10月20日役員会を開催し新年度の新役員、事業計画などを決めました。5期務めた坂本成昭会長は、顧問になり、新会長に宮崎和夫氏(三崎町出身)、副会長に本宮克三氏(三崎町出身)が就任しました。二人は飯田高校18回生、コンビの活躍が期待されています。

早速、北澤達成事務局長を中心に令和3年1月31日(日)～2月1日(月)「珠洲ビーチホテル泊 郷土訪問バス旅行・「頑張れ!ふるさと応援ツアー」を企画し参加者を募集しています。

石川県人会 全国大会
輪島市で開催予定

5年に一度開催する石川県人会第16回全国大会は、本年10月3日(日)開催されることになった。開催地を加賀・金沢・能登で持ちまわる恒例行事であるところ、今次能登での開催地が輪島市と決定したものである。海外や全国から石川県出身者が集うことから、延期となった「奥能登国際芸術祭」の開催期間に重なることになり、集客の効果が期待される。

令和3年「いわかわ百万石の集い」開催中止

初春に東京で予定されていた、石川県と石川県人会が共催する「第6回いわかわ百万石の集い」は、都内において新型コロナウイルスの複数の感染者が確認されている状況を受け、参加者の健康と安全を最優先に考慮し、開催を中止することになった。

【予定会期】

2021年9月4日(土)～
10月24日(日) 51日間奥能登国際芸術祭
実行委員会事務局

TEL:0768-82-7720

FAX:0768-82-7727

E-mail: info@oku-noto.jp

HP: https://oku-noto.jp



事務局から

コロナ禍の中で、「3密」が2020新語・流行語大賞になりましたが、暮れになってから「帰省暮」という造語が登場。何でも「帰省と歳暮を掛けた造語で帰省を自粛した人がふるさとの家族や親族に年末のあいさつの代わりに贈り物をしたり、帰って来られない遠方の家族や親族に贈り物をしたりすること」を指すようであります。「いいね!」を発したいところです。とするとお正月には是非「帰省年賀」か「帰省玉」を! コロナ終息を願うばかりです。 [東京奥能登応援団] 代表/光真 章 副代表/下平 康次



北野多津子さん(小木町)押し絵作品